



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月4日

上場会社名 株式会社サックスバー ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9990 URL <http://www.sacs-bar.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 木山 剛史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 山田 陽 (TEL) 03-3654-5315
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	12,503	5.8	588	5.6	644	10.8	363	7.3
2026年3月期第1四半期	11,815	△3.9	557	△31.6	580	△29.8	338	△34.3

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 329百万円(△4.3%) 2026年3月期第1四半期 343百万円(△32.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	12.52	—
2026年3月期第1四半期	11.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	40,476	30,202	74.6
2026年3月期	41,714	30,889	74.1

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 30,202百万円 2026年3月期 30,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,394	3.5	1,401	2.4	1,441	1.6	906	5.3	31.21
通期	53,513	4.4	3,348	5.8	3,426	5.1	2,112	10.8	72.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	29,859,900株	2026年3月期	29,859,900株
2027年3月期1Q	803,864株	2026年3月期	803,864株
2027年3月期1Q	29,056,036株	2026年3月期1Q	29,056,107株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（金額の表示単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調となりました。一方で、米国の政策動向や為替変動、中東やウクライナなどの地政学的リスクの長期化等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

流通業界におきましては、インバウンド需要は円安などの影響により訪日客の購買が活発化し、好調に推移しました。内需においては、原材料価格やエネルギー価格の高騰に伴う物価上昇を背景とした節約志向が定着し、生活防衛意識の高まりから、選別消費が継続しております。さらに、人手不足、人件費の上昇に加え、物流費や諸経費が増加し、依然として厳しい経営環境が続いております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は12,503百万円(前年同期比5.8%増)となり、売上高の増加に伴い、営業利益は588百万円(前年同期比5.6%増)、経常利益は644百万円(前年同期比10.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は363百万円(前年同期比7.3%増)といずれも増加いたしました。

なお、当社グループの報告セグメントは、鞆・袋物を核とする商品販売の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

事業部門ごとの状況は、以下のとおりであります。以下の数値につきましては、事業部門内の取引消去後かつ事業部門間の取引消去前のものを記載しております。

〈小売事業等〉

小売事業につきましては、1店舗の新規出店を行なうとともに、2店舗の退店を行ない、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は566店舗となりました。

売上につきましては、インバウンド需要の大幅な伸長に加え、国内需要も好調に推移し、既存店売上高前期比が6.4%増となりました。

品種別の売上では、プライベートブランド(PB)及びナショナルプライベートブランド(NPB)は、ドラクエをはじめとする人気キャラクターとのコラボ商品が好調であったことに加え、店舗での取り組みの強化により、前年同期比5.6%増となりました。雑貨は、キャラクター雑貨等を中心に販売数量が大きく伸長し、前年同期比92.9%増と大幅に増加いたしました。メンズバッグは、高額ブランド商品の値上げにより販売数量が減少しましたが、平均単価は上昇しており回復基調で推移しております。しかしながら、前期まで全てメンズバッグに一括して計上しておりました株式会社ギアーズジャムの売上を、新POSシステムの導入に伴い各品種へ振り分けたことにより、前年同期比8.6%減となりました。財布は、販売数量は減少したものの、高額ブランド商品の値上げにより単価が上昇したことにより、前年同期比2.2%増となりました。トラベルバッグは人気ブランドが好調に推移し、販売数量・平均単価がともに増加し、前年同期比6.1%増となりました。インポートバッグは、円安による価格高騰を背景に取扱いを縮小したことから、前年同期比22.4%減となりました。ハンドバッグは、皮革製品需要の減少やPBへの移行の影響により販売数量が減少したものの、一部セール品の販売が寄与し、前年同期比3.4%増となりました。カジュアルバッグは、PB、NPBにおける同種商品の取扱いの増加の影響を受け、前年同期比11.2%減となりました。

これらの結果、当事業部門の売上高は11,510百万円(前年同期比6.2%増)となりました。

売上総利益率は、粗利益率の高いPB及びNPBの売上は伸長したものの、粗利益率の低いキャラクター雑貨等の売上も伸長したため、前年同期比と同水準の50.5%となりました。販売費及び一般管理費率は、前年同期比0.1ポイント増加して46.1%となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間において、製造・卸売事業を営む子会社からの受取配当金500百万円を計上しておりますが、〈小売事業等〉の数値は当該受取配当金の影響を除外して算出しております。

〈製造・卸売事業〉

製造・卸売事業においては、主力商品であるキャリーケースのうち、キャラクターコラボ商品やPB商品の販売が好調に推移いたしました。

この結果、当事業部門の売上高は1,229百万円(前年同期比5.1%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,238百万円減少し、40,476百万円となりました。これは主に、商品及び製品が758百万円増加、投資有価証券が969百万円増加した一方で、現金及び預金が1,942百万円減少、受取手形及び売掛金が902百万円減少、繰延税金資産が110百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて550百万円減少し、10,274百万円となりました。これは主に、その他流動負債が183百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が287百万円減少、未払法人税等が194百万円減少、賞与引当金が176百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて687百万円減少し、30,202百万円となりました。これは主に、剰余金の配当1,016百万円による減少、親会社株主に帰属する四半期純利益363百万円の計上等によるものであります。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて0.5ポイント増の74.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想については、2026年5月15日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,804	3,861
受取手形及び売掛金	4,262	3,359
商品及び製品	12,884	13,643
原材料及び貯蔵品	24	31
その他	237	200
流動資産合計	23,214	21,097
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,102	3,146
土地	2,533	2,533
リース資産(純額)	356	331
建設仮勘定	891	887
その他(純額)	210	296
有形固定資産合計	7,094	7,194
無形固定資産	175	168
投資その他の資産		
投資有価証券	4,092	5,061
退職給付に係る資産	307	304
繰延税金資産	713	603
敷金及び保証金	5,594	5,572
その他	529	480
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	11,230	12,016
固定資産合計	18,500	19,379
資産合計	41,714	40,476

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,273	2,985
1年内返済予定の長期借入金	800	800
リース債務	148	141
未払法人税等	364	169
賞与引当金	359	183
役員賞与引当金	50	14
株主優待引当金	39	39
その他	2,066	2,250
流動負債合計	7,102	6,584
固定負債		
長期借入金	500	500
リース債務	287	259
役員退職慰労引当金	176	36
退職給付に係る負債	1,108	1,129
繰延税金負債	14	17
資産除去債務	1,300	1,298
長期末払金	257	371
その他	77	77
固定負債合計	3,721	3,689
負債合計	10,824	10,274
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,986	2,986
資本剰余金	4,569	4,569
利益剰余金	23,441	22,787
自己株式	△483	△483
株主資本合計	30,513	29,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△89	△110
退職給付に係る調整累計額	465	452
その他の包括利益累計額合計	376	341
純資産合計	30,889	30,202
負債純資産合計	41,714	40,476

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	11,815	12,503
売上原価	5,923	6,283
売上総利益	5,892	6,219
販売費及び一般管理費	5,334	5,630
営業利益	557	588
営業外収益		
受取利息	20	23
受取配当金	0	0
受取保険金	—	44
その他	12	6
営業外収益合計	33	74
営業外費用		
支払利息	6	9
その他	3	10
営業外費用合計	10	19
経常利益	580	644
特別損失		
固定資産除却損	20	7
減損損失	1	—
特別損失合計	21	7
税金等調整前四半期純利益	559	636
法人税、住民税及び事業税	82	144
法人税等調整額	137	128
法人税等合計	220	273
四半期純利益	338	363
親会社株主に帰属する四半期純利益	338	363

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	338	363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	△20
退職給付に係る調整額	△0	△13
その他の包括利益合計	5	△34
四半期包括利益	343	329
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	343	329
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

当社グループの報告セグメントは、鞆・袋物を核とする商品販売の単一セグメントであるため、セグメント情報について記載しておりません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	138百万円	143百万円
のれんの償却額	8百万円	8百万円